

日没時間が早まります
歩行者・自転車の見落としに注意しましょう

- 令和6年 秋の全国交通安全運動
令和6年9月21日(土)～令和6年9月30日(月)
- ① 歩行者の交通事故防止 (反射材着用、安全な横断方法の実践)
 - ② 日没前後の「薄暮時間帯」は注意 (早めライト・ハイビーム活用)
 - ③ 自転車・バイクの交通事故防止

交差点事故をなくそう 歩行者・自転車 再確認

バックする時 「たぶんいないだろう・・・」は、ダメ

信号待ち車への追突 漫然運転、わき見運転に注意しましょう

運転中 子どもの動きに 注意しましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

午後9時 信号交差点
右折の軽乗用車が自転車を巻き込む
自転車の男性、頭打ち重体

- ◇ショートカット右折をしない (道路交通法にも禁止)◇
- ◇ショートカット右折は、ミラーとピラーの「死角」をつくる、歩行者を「見落とす」◇
- ◇右折時は、「大きく曲がって」、ミラーとピラーの「死角」をつくらぬ◇

2024/9/10(火)

9日午後9時半頃、静岡県の信号のある市道交差点で、右折しようとした女性(75)が運転する軽乗用車が、同じ方向から道路を横断していた自転車の男性を巻き込みました。男性は頭などを強く打ち重体ということです。

ゆるやかなカーブ
軽乗用車がセンターラインを越えたか
乗用車と正面衝突 軽乗用車の70代男性を搬送

- ◇『カーブ』の手前は・・・十分に、「スピード」を落として走行しましょう◇
- ◇カーブで曲がりきれず、対向車線にはみ出して◇
- ◇正面衝突や路外逸脱事故になる前に、スピードダウンを！◇

2024/9/9(月)

8日午後4時頃、滋賀県の県道で軽自動車と乗用車が正面衝突する事故があり、軽自動車を運転していた70代の男性が搬送されました。また乗用車に乗っていた5歳くらいの子どもの腹部を切る軽いけがをしました。現場は緩やかなカーブの片側1車線の道路で警察は軽自動車がセンターラインを越えて衝突したとみて調べています。

午前4時すぎ 交通量の少ない時間帯
横断歩道のない道路
横断中の高齢女性 タクシーにはねられ死亡

- ◇夜間、早朝も道路を横断する歩行者がいます◇
- ◇夜間、早朝、「人はいないだろう」と・・・漫然と運転することは危険です◇
- ◇夜間は、歩行者が見えづらくなるので、「ハイビーム」を活用しましょう◇

2024/9/10(火)

10日午前4時20分頃、神奈川県で横断歩道のない道路を渡っていた高齢女性が、直進していたタクシーにはねられ、意識がある状態で病院に搬送されましたが、その後死亡が確認されたということです。タクシーは客を乗せていましたが、運転手の男性(76)ともにケガはないということです。現場は片側2車線の直線道路。タクシーは中央寄りを走行していて、事故が起きた時間帯は交通量が少ないということです。